昭和57年
1月1日
第192号

町報 つなぎ

発行所　津奈木町役場
編集　企画課
印刷所　あすなろ印刷

人口と世帯

（12月1日現在）

人口	6,314人	(－ 9)
男	3,013人	(－ 2)
女	3,301人	(－ 7)
世帯	1,709世帯	

（）内は前月との比較

謹んで新春をお慶び申し上げます

骨董品

町長　六車　孝吉

毎年十二月の初めに全国町村長大会が催される。郡町村会の定宿は本郷一丁目にあって、先輩町長さんからの申し送りであるが、どう品屋目に見ても、いい旅館とは言いかねる。後楽園のすぐ近くにあって、国会や各省庁への陳情には遠くて大変不便であるが、神田の本屋街に近いのが唯一の取柄である。新刊書は言うに及ばず、夥しい古本があって実に楽しい。肥後国誌や不知火考の古本が目についた時は、百年の知己に会った様な気がした。昭和二十四年、私がチェロを購入した楽器店も神田の神保町にある。古書蒐としたドイツ製で、ストラディヴァリのコピーと書いたラベルがはってあって、近頃話題に上る芸大の様なラブルの起りようもない安物である。骨董楽器に趣のある知人がこれを見て、現在五・六十万円位の物だと評価してくれたが、どうも御世辞半分の値段らしい。このチェロと二緒に買った鳥がケンツエルで、先年破損したが、夥しいチェロよりもこの方が上等だった様な気がする。先日新聞の見出しに、芸大の某教授が「使い古し」のチェロを芸大に売ったと大きく書いてあったのに驚いた。なるほど勧務先の学校に売ったのは勝か間題があるが、然しこのチェロとガダニーニのヴァイオリンは勿論、本物なら値段のつけ様もないと言われるストラディヴァリ、その師匠のニコラ・アマティ、または同門のガルネリ、ベニスのセラフィン、或はスタイナーなどこれ等の製作家は二百五十年以上も前の人達で、その作品は何れも使い古しの骨董楽器であるが、値段はガダニーニの作品以上に高価であって、骨董品を愚々「使い古し」とは言わないのが常識である。私がチェロ奏法を教わった故管弦楽団の大野さんが先年他界された。昨年東京新橋の燒瓦通りにあるヴァイオリン専門店の梅沢に愛用のチェロを預けてあると聞いたので、上京したついでに梅沢を訪れたが、既に御遺族が引取られた後であった。アレンの弓共百二十万円ということで、この程度のチェロは専門家向には中途半端であるらしく、東京でも仲々売れない由である。我々素人が見ると音色もよく、いいチェロと思ったのだが、楽器その他の骨董品と同様に、名前で高く売れるものらしい。

年頭にあたりて

議長　福田　正任

町民の皆様、明けましておめでとうございます。あわただしい一年を送り、新年を迎えまして誠に皆様と共に御同慶にたえません。

もし新年というものが我々人生にないとすれば、これは実に単調で変化もない何か物足りない毎日であろうと思います。一年に正月があり、その終りには暮の行事があるとは、その間の色々な行事を含め人生の行程に変化をもたらし、人から倦怠あるいは単調をなくす上にも非常に役立つものであると思います。特に新年は人生に心機一転の好機を与える点におきましても誠に重大な意義があると思います。また、一年の終りに我々はどれだけの仕事をなし得たか、あるいは悔いることはなかったか、省と決算をつける時でもあると思います。

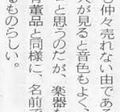
新年は一年のスタートであります。まず新年を迎え考えるべきことがあるとすれば、今年は何をしたらいいか、何をなすべきか、まず具体的にしっかりと考えなければならないと思います。前年より何かを考え、一歩でも二歩でも前進すべき点に思います。新年は皆様とともに歩むべき年にしたいと思います。

おくれましたが、不肖私、故川崎前議長の後を受け、議長の重責を負うことになりました。前議長が余りにも優秀な人であっただけに、その責任の重大さを感じている次第であります。元より浅学非才でありますが、永い議員生活の経験を充分に生かし、議員各位の絶大なる御支援と町民皆様の御協力を得まして最善を尽くして努力致いたすならば、必ずやこの重責を全うすることが出来るのではないかと、かように考えてこに町民皆様方の御支援・御協力方をお願い申し上げる次第であります。

年頭にあたり、議長就任を含め新年の御挨拶をさせていただきましたが、どうか町民の皆様にも栄ある最良の年でありますよう様々にお祈り申し上げます。

新教育委員

鬼塚妙子氏



山口憲治委員の辞任に伴い、平成区婦人会長の鬼塚妙子さんが新しい教育委員に任命されました。

婦人の教育委員は昭和二十七年、岡松かきさん（現老友会副会長）、昭和三十一年と昭和三十七年、平国の故福村ツシメさんに次いで三人め、十九年ぶりの誕生で御活躍が期待されています。

退職あいさつ

前農林水産課長　川崎　武松

私儀去る十二月末日を以って定年退職いたしましたが、二十七年余の在職期間を大過なくつとめることができました。

振り返ってみますと、総務課、税務課、経済課、教育課、更に農林水産課と務めさせて戴きましたが、それぞれの課でいろいろの思い出が残っています。殊に赤崎小学校建設については、日本で初めて海上校舎とあって審査も厳しく、大分苦労もありましたが、それだけに生涯の思い出として残ることと思います。それから三年毎の産業祭を二回手がけましたが、回を重ねる毎に盛大で好評を得ました。これもひとえに町民皆様の絶大な御協力のお蔭と深く感謝申し上げます。また、上下門、古市尾、倉谷地区のほ場整備事業に続き、林業構造改善事業を手がけ、事業平ば定年退職することになりましたが、この事業の完成を祈念し、各界各層の方々の御指導・御援助に対し心から厚くお礼を申し上げ、町のますますの発展と町民皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、挨拶と致します。

新選挙管理委員

千々岩順子氏

津奈木町選挙管理委員会では、故水松登弥委員の死去に伴い、補充員の中から、町中部落、千々岩順子委員を新選挙委員として任命しました。

羽ばたけ とり年生まれ

自 昭和55年12月21日　至 昭和56年12月20日届出まで（届出順）

部落	保護者氏名	出生児	続柄	生年月日	部落	保護者氏名	出生児	続柄	生年月日	部落	保護者氏名	出生児	続柄	生年月日
大平	椎葉哲義	直毅	長男	55.12.16	浜崎	磯見勲	麻衣子	長女	56. 3.19	染竹	木川秀之	穂高	長男	56. 7.14
国泊	平野野嘉	明日香	長女	12.20	内泊	北岡あつむ	由範	長男	3.23	町大	古田誠一	純一	長男	7.11
日染	吉村上田	和紀子	長女	12.26	山下	新立伸一郎	麻将	長男	3.27	竹泊	新立典男	基一子	三女	7.15
桜日	村本平	和也	長男	12.26	大国	森山広孝	智貴	二女	4. 2	上野	村寺広介	めぐ	二女	7.22
福日	百田藤	達三	長男	56. 1. 5	平国	野山崎孝義	佳広	長男	4. 7	国中	吉野強	章正訓	長男	7.23
倉福	松篠崎	拓恵	長男	1. 7	中尾	山本一義	理み	長女	4.29	内竹	開伊藤英	勇敏	長男	7.23
小染	堀原井	亮春	長男	1. 9	浦浦	福田又敬	希史	長女	4.27	日日	伊釜寄幸	和徳	二男	7.27
津浦	福富	信一	長女	1.21	添浦	福田藤敬	史	長男	4.28	桜中	橋本幸生	辰恵	二男	8.19
奈竹	溝脇	正憲	長男	1.19	〃	伊〃	史	二男	5. 7	大日	柳迫山泉	香理	二女	8.18
木中	林口	孝達	長女	1.27	中浦	元村健一	みぐ	二女	5.16	倉古	諫田田富	明和	長女	8.26
川浦	田野	美二	長男	1.27	谷添	福林賢	織	二男	5.16	古川	堀山中尾	雄恵	長男	8.23
田谷	野野	譲昇	長男	2. 1	泊川	篠原立一	徳春	三女	5.21	古中	林田下捨	彦任	二女	8.18
倉竹	浜野	順矢	長女	1.26	竹下	新川一喜	お	二男	6. 1	竹中	中尾田幸	友昭	三男	9.13
浦竹	野野	慶司	長男	1.30	下下	野上崎秀	雄	四男	6.11	竹中	林竹竹正	麻	二女	9. 9
木中	板野	正雄	長女	2.11	国国	野田秀彦	郎	長男	6.14	竹中	竹永田慎	亜紀	二女	9.21
中川	野野	義智	二男	2.18	下門	上村尾登	和	長男	6.20	竹下	竹松福田	智華	長女	9.24
国国	当上	哲郎	長女	2.20	国国	下辻浦	彦	二男	6.21	下下	倉永田博	尚子	二女	9.25
日平	戸川	美	長女	3. 4	下下	松野谷	祐	長男	6.24	国谷	福福田栄	直也	二男	10. 2
桜国	古福	貴光	長男	2.22	福平	上辻浦	布	長女	6.26	福染	福福田	瞳	長女	10.13
福国	川田	亜里	長男	3. 3	福平	谷洋	吾	長男	7. 3	竹竹	荒木仁	美	長女	10.31
平国	平田	舞	長女	3. 4	福国	福田勝	美	長男	7. 7	中中	森登美子	美	長女	11.16
新国	浜田	智智	長男	3. 3	下国	村上義	美	長女	7. 2	谷尾	山本和一	榮	長女	11.13
平平	浜田	安安	長女	3. 4	下下	村福秀	子	四女	7. 2	中中	山本下	麻衣子	長女	11.21
内	野野	子	長女	3.12	野野	浜田	信	二女	7. 1	新	山山	舞	三女	11.25
平	国国	美	長女	3.17	内	秋田良	織	二女	7.13	小津奈木	山	貴也	長男	11.27

訪問

上下門しみず甘夏団地

津奈木町から柑橘をとったら何がのこる！

生産組合長　平松正一氏等十二人

新しいミカン作りに意欲満々

ミカン熱が高まった昭和四十一年、第一次農構事業で十ヘクタールの甘夏団地を造成したのがこの団地の始まりである。その後十五年が経過した現在、生産過剰となり、ミカン熱も徐々に冷えてゆく風潮がみられるなかで、この団地は今後どういう方向を目指しているのか現場を訪れることにした。

去る十二月三日、今年最低の零下二度Cの大霜に見舞われ、B地区の甘夏には冷や汗どころの朝。十四ヘクタールの甘夏園が広がるしみずに行った。団地の手前に水を満林した多目的ダムがある。団地に入り園内を見渡して、まず目につくのが甘夏に新しい品種を接いた早新園である。

この団地も甘夏単一から急速に多くの種類に変身してゆくことを感じる。どの早新園も充分に管理されているのはさすがで、十五年間も共同防除の実績をもつだけのことはある。団地一体として努力されていることが一目でわかった。

連絡なしで訪れたけれども、ちょうど生産組合長の平松正一氏、農業委員の門崎氏など五人の方と作業中、出合ったので話を聞いてみた。

まず、今後甘夏についてはは別表のように三年間位で改善してゆくとのこと。

経営の一環としての水田の多角的用は労力的に無理。水田は場整備で貸してしまった人、自給程度に縮少している。

しみず甘夏団地の更新計画表

S五十六年十二月現在

		早生甘	中生系甘夏	普通甘夏	ザンフルーツ	大伊予柑	ネーブル	その他	合計	備考
S56年	面積	0.2ha		8.8	3.0	1.0	0.4	0.6	14.0ha	穂木導入費
現況	生産量	一トン		300	120	—	10	20	450トン	約100万 約300万円
S57年	面積	1.0ha		6.2	3.0	2.0	1.0	0.8	14.0ha	
計画	生産量	一トン		250	120	—	12	2.5	407トン	
S58年	面積	1.8ha		3.0	3.0	3.0	2.0	1.2	14.0ha	
計画	生産量	6トン		150	1.20	2.0	1.5	2.5	336トン	
S60年	面積	1.8ha		3.0	3.0	3.0	2.0	1.2	14.0ha	
計画	生産量	50トン		150	120	90	50	40	500トン	

平均すると二十アール足らずで、今後も水田に力を入れる考えはない。"そもそも私達は十五年前に米作りをやめて、ミカンにかける決心をしたんだから今更変えるつもりはない。一生ミカン作りにかける"この一言で、と当分の間この団地の後退はないものと思う。

この団地には後継者に農業を継いでもらいたいという経営主は少ない。むしろ農業以外で働かせたい意向が強い。"我々の時代は一生ミカン作りにかける。次の代は次の代の考えにまかせる。となると次の時代では三ヘクタールでこの団地を経営する時代が来るかもしれない。

しかし、現在を考えると、"津奈木町から柑橘をとったら何が残るか、この点、指導者も生産者もう一度考え直してほしい"。

自分達が取りかかったミカン作りには迷うことなく、誰から何と言おうとやり抜く心の強さが感じられる。三年をメドに取り組んでいる。甘夏だけからの脱却も、この組合員の意気からして間違いなく実行されるだろう。

意気消沈きみの特産甘夏は地域によっては徐々に新しい品種に生まれ変わるが、今後も日本一の座を堅持しなければならないことを強く感じながら取材を終えた。

最後に、取材に御協力ただきました組合員の平松さん外組合員の皆さんに感謝申し上げます。

園児募集

幼稚園

昭和五十七年度津奈木幼稚園の園児を次のように募集します。

記

一　募集人員
・四才児〈自52.4.2 至53.4.1〉出生児　四〇名
・五才児〈自51.4.2 至52.4.1〉出生児　五一名

二　入園資格
昭和五十七年四月二日現在、満四才児および五才児で、津奈木町に住所を有する者。

三　提出書類
入園申請書（一部二用紙は、教育委員会にあります。）

四　申し込み期間
昭和五十七年一月十八日から、同年二月十五日まで。

農業委員会より

農業委員会委員選挙人名簿登載申請書について

毎年一月一日現在での申請をして、三月三十一日に選挙人名簿が確定します。次の(イ)から(ハ)までの上部に該当する人は、申請書を区長さんにお届け下さい。

(イ) 十アール以上の農耕作者
(ロ) 一年のうち、おおよそ六十日以上農業に従事する者
(ハ) 昭和五十七年一月一日現在で満二十才以上の者（昭和三十七年一月一日以前の出生者）

申請者の提出期限　一月九日

なお、該当者で申請書が未着の人は、区長または農業委員会事務局にあるので申し出て下さい。

民金　20才になったら国年　国民年金

成人を迎えた皆さん、おめでとうございます。

これからは、自らの意志と力で生きて行く厳しい社会入です。

ところで、皆さんは二才から加入する国民年金をご存知でしょうか。

現在のわが国では、誰もが、国がおこないすれかの年金制度に必ず加入することになっています。会社や工場に勤める人は厚生年金に、官公庁に勤める人は共済組合に、船乗りの人は船員保険に加入します。そして、これらの年金制度に入らない二十才から五十九才までの人はすべて国民年金に加入することになります。

サラリーマンの奥さんや昼間部の大学生などは、本人の希望で加入しても、しなくてもよい任意加入者となっていますが、先々、自分自身の年金を持つためにも加入しておきましょう。

"はたち"のみなさん

国民年金に加入しましょう

募集

熊本県立江津高等学校生徒

通信制

毎日通学できない人のために開いた課程で、普通科のみ。入学試験はありません。

(1) 学習の進め方
一年に二十回ほど日曜または月曜日登校して授業を受けます。
また、年間各教科約十回のレポートが課せられるので教科書、学習書、NHK高校通信講座等を利用して自学自習し、これを学校に提出して添削を受けます。試験は年三回、在学期間は四年以上です。

(2) 一年次の教科
国語1、現代社会、数学1、理科1、保健、体育、英語1、計22単位

(3) 諸経費（年額）
授業料千百円。生徒会費等五千円。その他入学時に三万四千円程度。

(4) 受付期間
昭和五十七年二月二十日～三月二十五日まで

(5) 協力校青山農林高校で年間十五回ほど授業や試験を行っています。

(6) その他職業は看護婦、会社員公務員等のほか近年家庭の主婦が増加しているのが特徴です。
平均年令二十八才、二十代・三十代が六〇％、五十代の人も熱心にがんばっています。
詳細については、熊本市出水四丁目三五〇（電話七二一五三一一）県立江津高校まで問い合わせて下さい。

成人式ご案内

昭和五十七年の成人式を次のとおり開催します。

(1) 日時　昭和五十七年一月三日（日曜）午前八時三十分受付、九時三十分式典開催
(2) 会場　津奈木町農業就業改善センター
(3) 対象者　昭和三十六年四月二日から昭和三十七年四月一日までに生れた人
(4) その他　記念写真代等五百円を持参の上、普段着で参加して下さい。

なお、該当の人で成人式の案内状がもれている方がおられましたら、当日会場にご遠慮なくおいで下さい。

御寄付お礼

奨学基金へ

熊本市の伊藤典男（津奈木町出身）さんから、奨学基金として、多額の寄付をいただきました。将来有能な人材の育成に役立てていきたいと思います。

電話機の御寄贈

水俣市旭町　伊藤俊一（歯科医）さんより、電話機を御寄贈頂きました。総合グラウンドの管理棟に取り付けました。

津奈木局　二一七五番です

海洋センター体育館、総合グラウンド、就業改善センターの管理人に御用の方は御利用願います。

税務署だより

税の相談はお気軽に

今年も所得税の確定申告と納税の時期が近づきました。

帳簿の整理や決算はお済みでしょうか。帳簿のつけ方や決算の仕方など、税金についてわからないことや、知りたいことがありましたら、お気軽に最寄りの税務署か税務相談室におたずねください。

相談は電話でもできます。匿名でも結構です。もちろん無料です。

表彰

行政管理庁長官表彰

松崎　茂生氏

多年にわたり統計業務に尽力し、その発達に貢献のあったとして表彰されました。

国鉄から三社詣での旅

赤間宮、宮地、神社、大幸府天満宮に、旧正月初詣での旅募集

期日　一月二十四日（日）より一月二十五日（月）まで（旧正月元日）一泊二日

募集人員　四〇名（満員になり次第締切ります）

会費　九千三百円

出発　津奈木駅発　二時一〇分頃（都合で変更もある）

申込は電話で（水俣駅）
〇九六六六一三一〇六三三番
三一三六二二番

社協だより

ご芳志お礼

部落	世帯主	故人
倉谷	小坂時吉	小坂保人
小津奈木	永松静代	永松登弥
辻	下川キヌヨ	下川諭
染竹	伊藤典男	伊藤一高

右の方から町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封ご寄付下さいました。この寄付金は、ご意志に添い、有効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

きっぱりと飲んだら乗らない強い意志

まずゆとり車間距離にもこころにも